

めぶきフィナンシャルグループ 個人投資家さま向け会社説明会

2018年9月



MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

撮影地については表紙裏面をご覧ください。

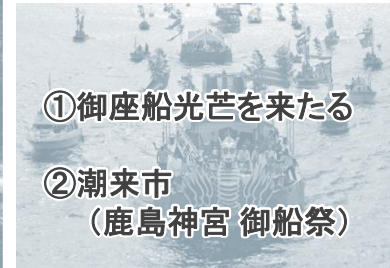
栃木県の観光名所

- ① 写真の表題 ② 撮影地



茨城県の観光名所(常陽フォトコンテスト受賞作品)

- ① 写真の表題 ② 撮影地



目次

1 めぶきFGについて

めぶきフィナンシャルグループの概要	4
地方銀行業界での位置	5
めぶきFG発足後の歩み	6
茨城・栃木両県の経済的ポテンシャル	7
営業エリアのマーケットポテンシャル	8
店舗ネットワーク	9

2 事業戦略

両行の強みを生かした事業戦略	11
広域連携支援の展開	12
個人のお客さま	13-14
法人のお客さま	15-16
ITを活用したお客さまの利便性向上	17
業務の効率化	18
店舗の効率化と付加価値向上	19
グループ会社	20
事業戦略に基づいた施策・シナジー実績	21

3 業績予想・株主還元

'18年度業績見通し	23
自己資本比率	24
株主還元 配当政策/株主優待制度	25
株価の推移	26
(ご参考)長期金利(日本国債10年利回り)	27
および株価指数の推移	
(ご参考)株主の状況	28

4 ESGの取り組み等

ESGの取組み	30-35
地域創生への取組み	36
(ご参考)ホームページのご案内	37
(ご参考)用語集	38-39

1. めぶきFGについて

2. 事業戦略

3. 業績予想・株主還元

4. 地域貢献ほか

めぶきフィナンシャルグループの概要

1 2 3 4

常陽銀行・足利銀行を傘下に置く金融持株会社として2016年10月に発足

会社概要

上場	東京証券取引所（証券コード:7167）
統合日	2016年10月1日
従業員数（'18年3月末）	6,666名（外、平均臨時従業員数 3,894名）
総資産（'18年6月末）	16兆9,392億円
自己資本比率（'18年6月末）	10.08%
時価総額（'18年6月末）	4,386億円

格付情報

格付投資情報センター(R&I)

めぶきFG	常陽銀行	足利銀行
A	A+	A+

ムーディーズ

常陽銀行
A2

主要インデックスへの採用

JPX400
日経株価指数300
日経500種平均株価
TOPIX、MSCIジャパン など

グループ体制



地方銀行業界での位置

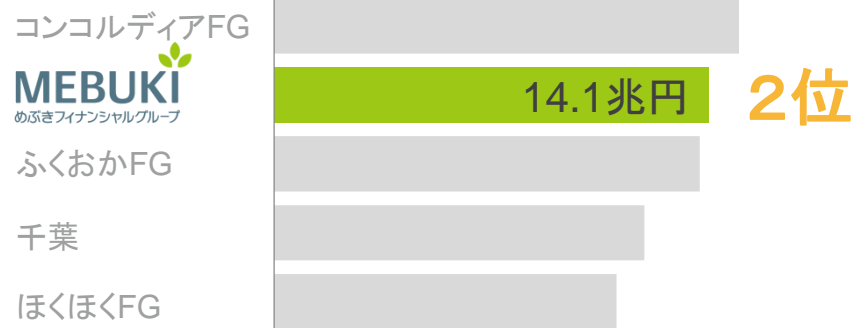
1 2 3 4

お客さまのご支持に裏打ちされた資産規模が強み

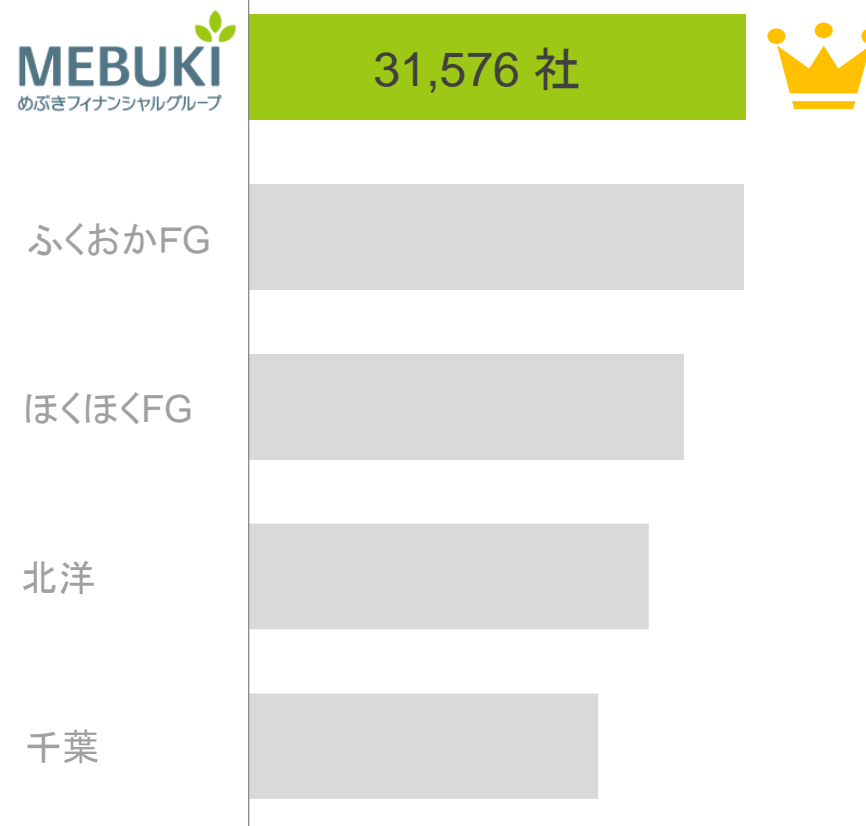
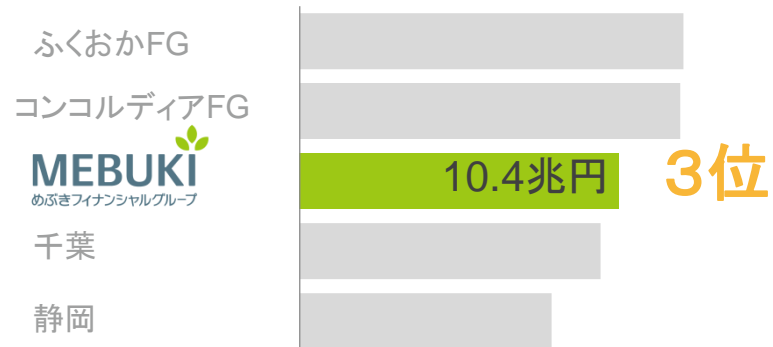
資産規模 ('18年6月末現在)

メインバンク先数 ('18年3月末現在)

預金残高



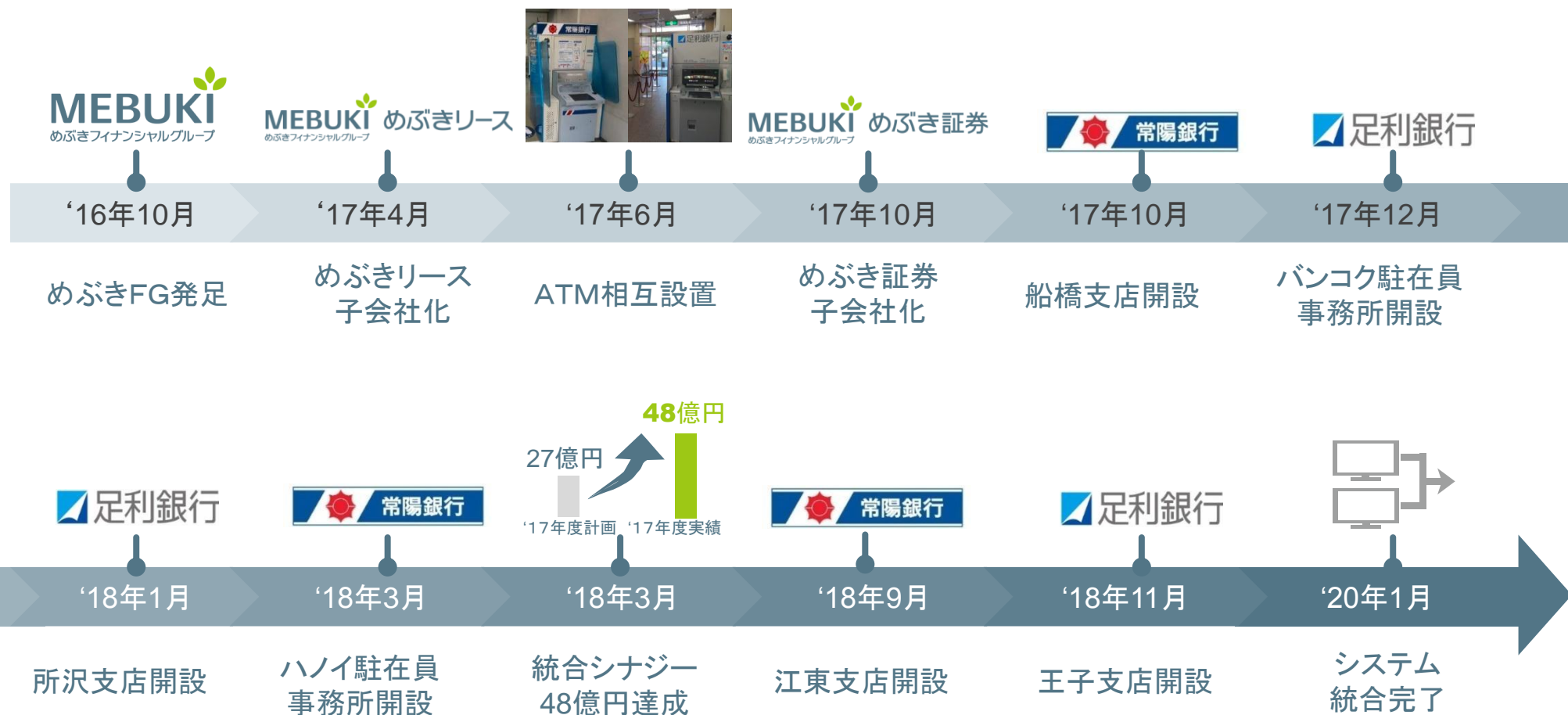
貸出金残高



(株)東京商工リサーチ「企業のメインバンク調査(2018年)」

めぶき F G 発足後の歩み

第1次グループ中期経営計画に基づき着実に前進を続けている



茨城・栃木両県の経済的ポテンシャル

交通網の整備に伴い、マザーマーケットのさらなる発展が期待される

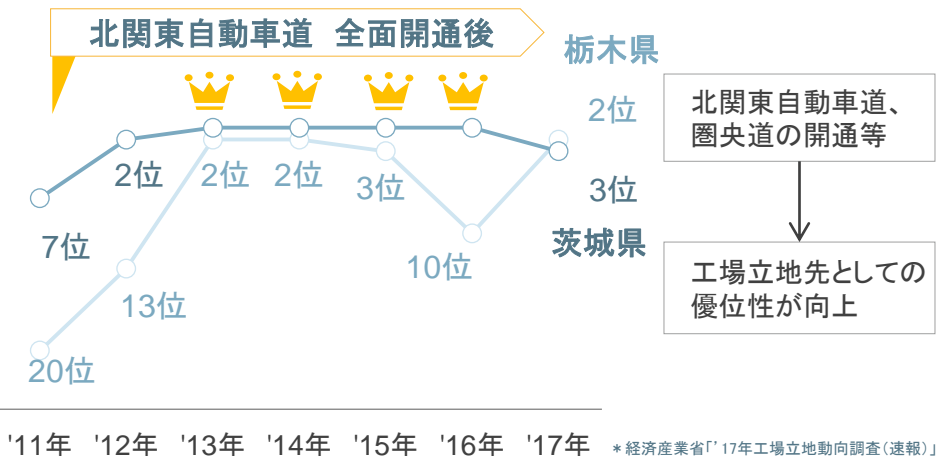
交通網の優位性

高速道路の連結により、広域ネットワークを形成



企業誘致のポテンシャル

工場立地敷地面積



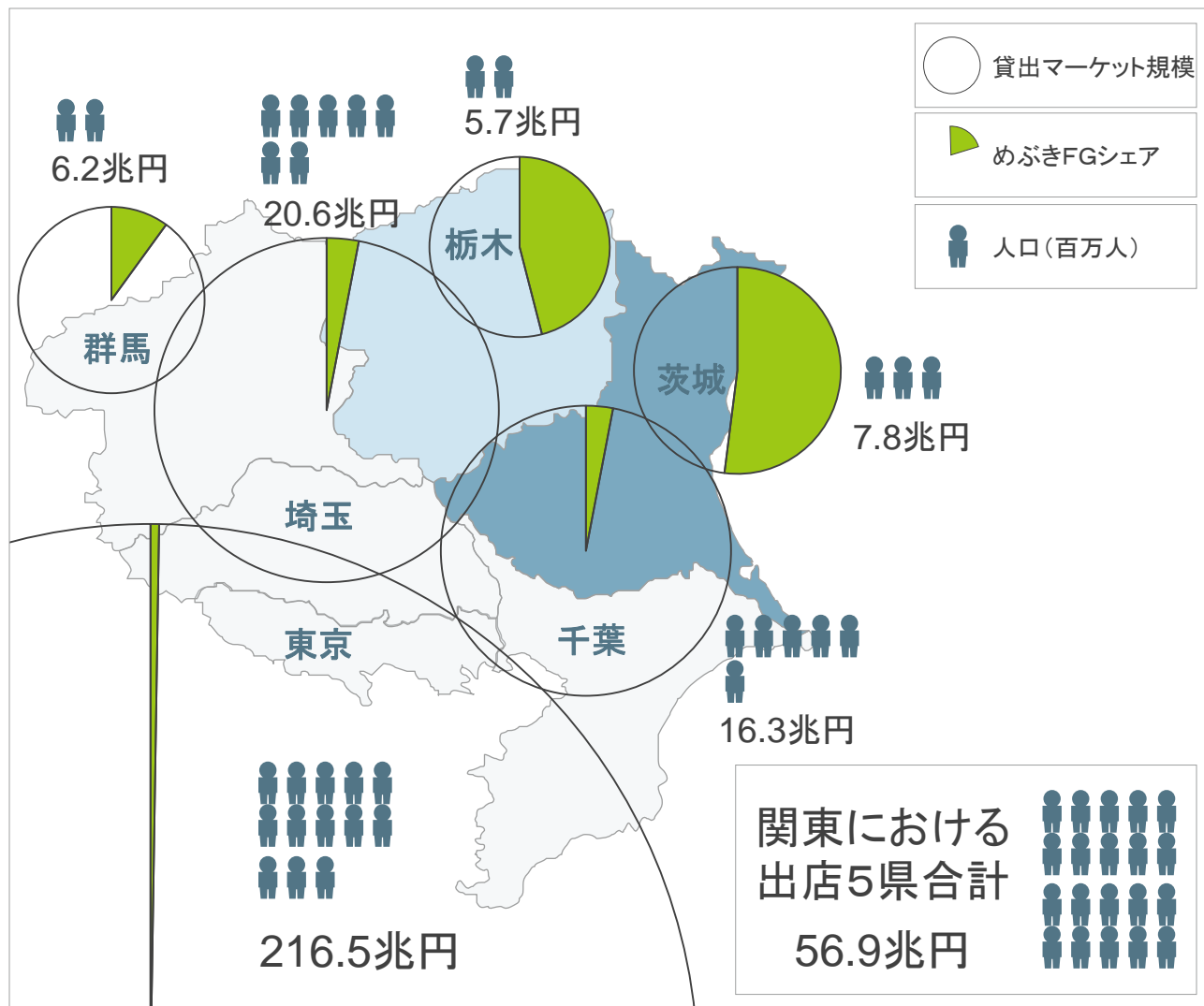
経済指標

	茨城県	栃木県
人口	289万人 11位	196万人 19位
GDP 名目県内総生産	11.6兆円 11位	8.2兆円 16位
一人当たり県民所得	309万円 11位	320万円 4位
事業所数	11.8万事業所 13位	8.8万事業所 19位
製造品出荷額等	11.2兆円 8位	8.8兆円 12位
農業産出額	4,903億円 2位	2,863億円 9位

営業エリアのマーケットポテンシャル

1 2 3 4

茨城県・栃木県と隣県におけるマーケットポテンシャルは大きい



北関東を地盤とし、マザーマーケットである茨城県・栃木県で5割前後のシェアを有する

マーケット規模の大きい千葉県・埼玉県なども営業エリアとして店舗網を有しており、シェアを伸ばす余地は十分にある

東京に近い立地を生かし、拠点開設等によりマーケットポテンシャルの取り込みを目指す

店舗ネットワーク

1 2 3 4

(’18年6月末現在)

経営統合後、’21年度までにグループ全体で15カ店の新規出店を計画

銀行の支店数(2行合算)

336店舗

宮城 1
福島 11

栃木
120
店舗

茨城

155
店舗

群馬
15
店舗

埼玉
20
店舗

東京
6
店舗

千葉
7
店舗

所沢支店 ’18年1月

王子支店 ’18年11月(予定)

江東支店 ’18年9月

船橋支店 ’17年10月

大阪 1

店舗外ATM431ヶ所
(共同利用ATM含む)

めぶきリース/めぶき証券

めぶきリース
宇都宮営業部
足利営業部
小山営業部

めぶき証券
宇都宮支店

宮城 1
福島 2

栃木

3
1

茨城

5
5

埼玉 1

めぶきリース
12拠点

めぶきリース
本社営業部
つくば営業部
下館営業部
古河営業部
鹿島営業部

めぶき証券
6拠点

めぶき証券
水戸支店
日立駐在事務所
鹿島駐在事務所
つくば支店
下館駐在事務所

1. めぶきFGについて

2. 事業戦略

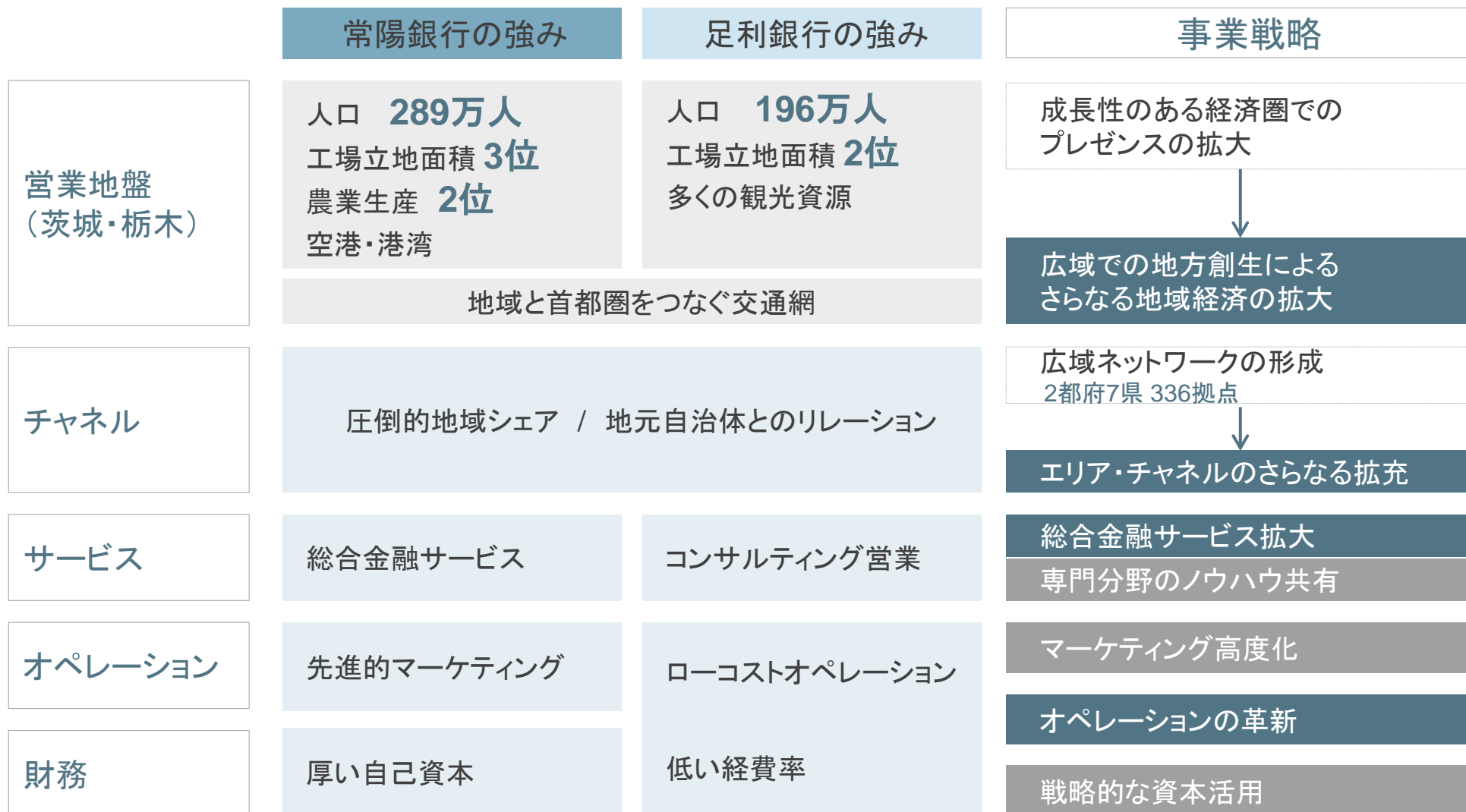
3. 業績予想・株主還元

4. 地域貢献ほか

両行の強みを活かした事業戦略

1 2 3 4

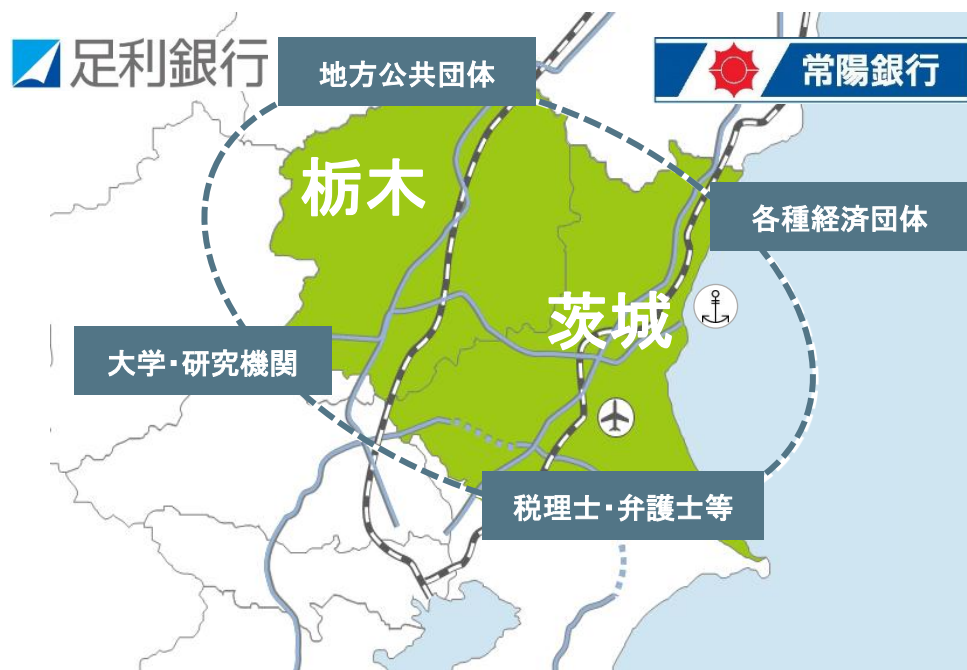
両行の強みや地の利を最大限に活かし、持続的な成長を目指す



広域連携支援の展開

1 2 3 4

両行合わせたメイン取引先は約3万社。広域ネットワークを活用し、お客さまの売上高・利益向上に向けたコンサルティング力を強化。



主な取組内容

広域ネットワークの活用促進

ビジネスマッチングの広域化
外部専門家等との連携 等

産業育成／新事業創出

産業育成・新事業支援プランの共同化
ビジネスコンテスト
技術コーディネーター活用
首都圏・海外への進出支援、企業誘致 等

地域のブランド化

食・農/観光への投資連携事業の創出支援
地域資源を活用した新商品開発支援 等

地公体との連携

商店街活性化、移住定住促進策提案 等

新規出店と重点エリア

新規出店 | 2018年10月～2021年3月までに15店舗程度(リース・証券含む)

店舗ネットワークの拡充

成長ポテンシャルの取り込み

想定エリア | 千葉北西部、埼玉南部、東京、TX沿線

個人のお客さま

ライフプランに合わせたご提案



当社グループがご提供する商品



- 普通預金
- 給振指定
- マイカーローン
- 住宅ローン
- 教育ローン
- 資産運用
- 年金指定
- 遺言信託

- ポイントクラブ (サービス)

- インターネットバンキング
- クレジットカード デビットカード
- ブライダルローン
- フリーローン

- 火災保険
- 積立商品

教育ローン

教育ローン「カルテュスタン」

専業主婦 専業主夫

カードローン型 証券貸付型

年2.50% 年2.50%

1000円 1万円

定期銀行

保険商品

外資系 エブリイプラス Everybody Plus

契約締結前交付書面 (契約締結・注進書)

商品パンフレット

この商品は明治生命保険株式会社を引継ぎ保険会社とする生命保険であり、利率とは異なります。



常陽銀行の個人向けインターネットバンキング

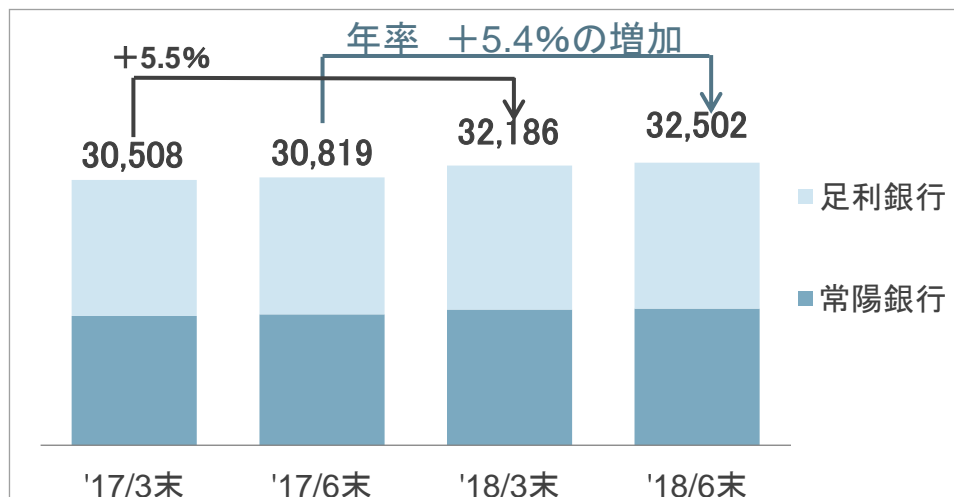
アクセスジェイ

お忙しいあなたに!

個人のお客さま

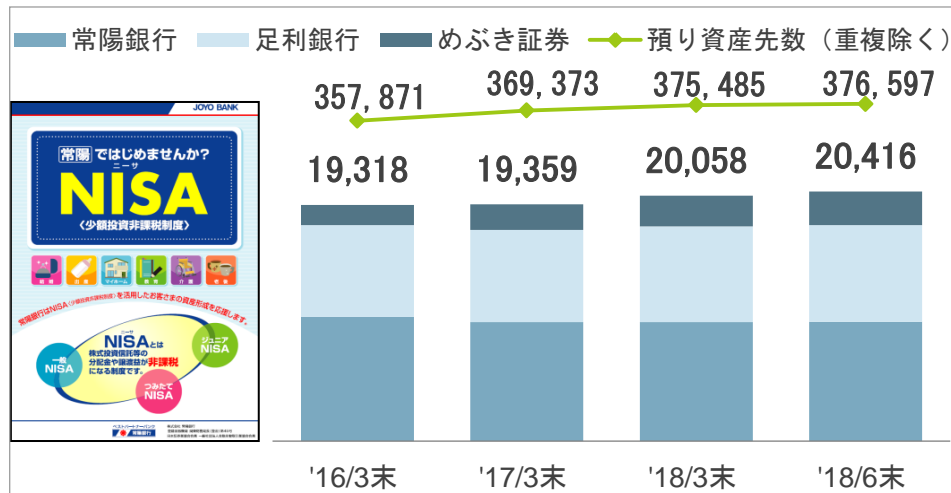
住宅ローン残高

(単位: 億円)



グループ預り資産残高と契約先数

(単位: 億円/先)



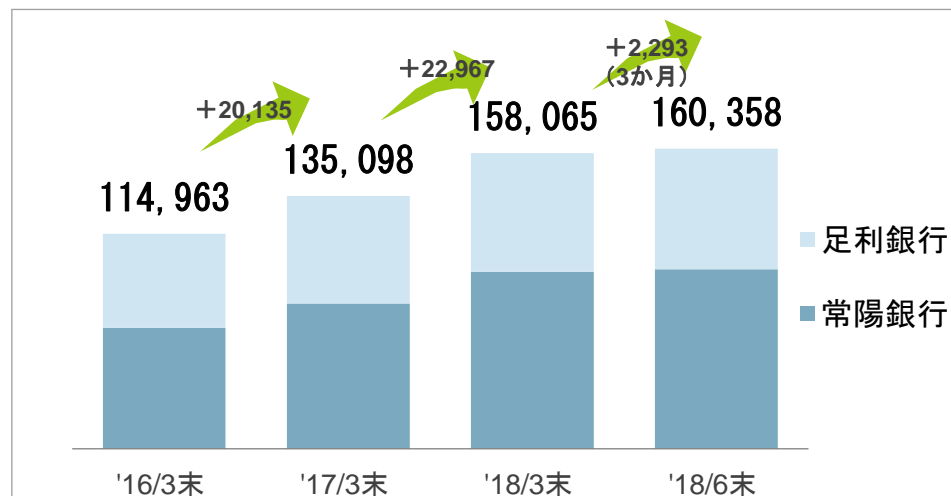
共同開発商品の活用

(残高/単位: 億円)



積立契約者数(2行合算)

(単位: 先)

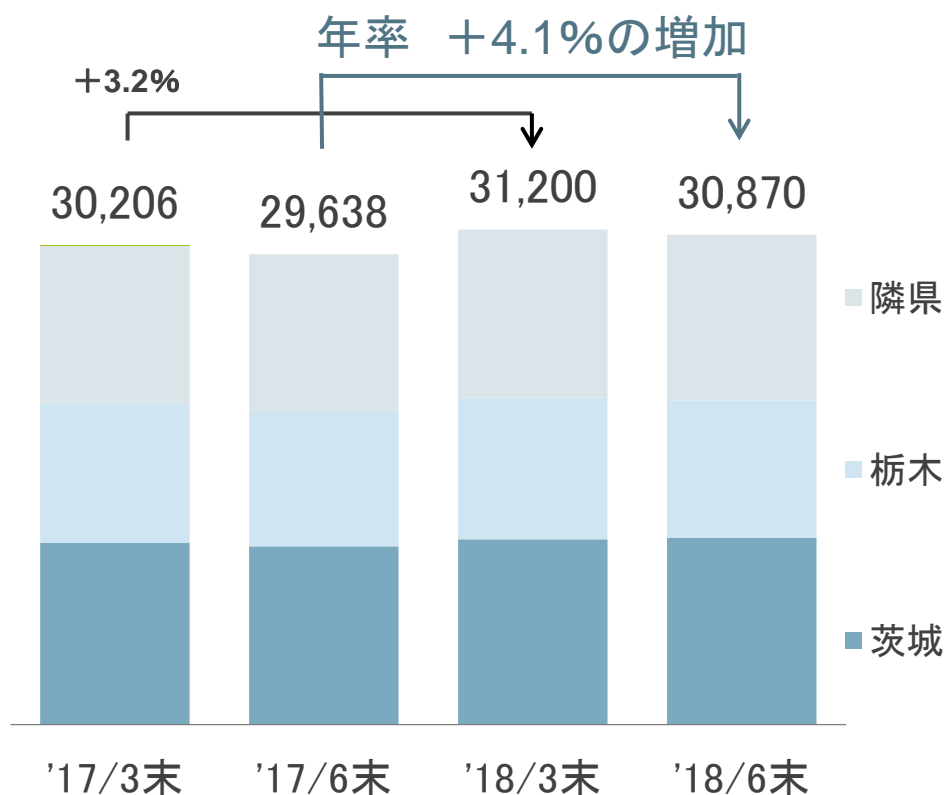


法人のお客さま

貸出金の残高推移 | 2行合算

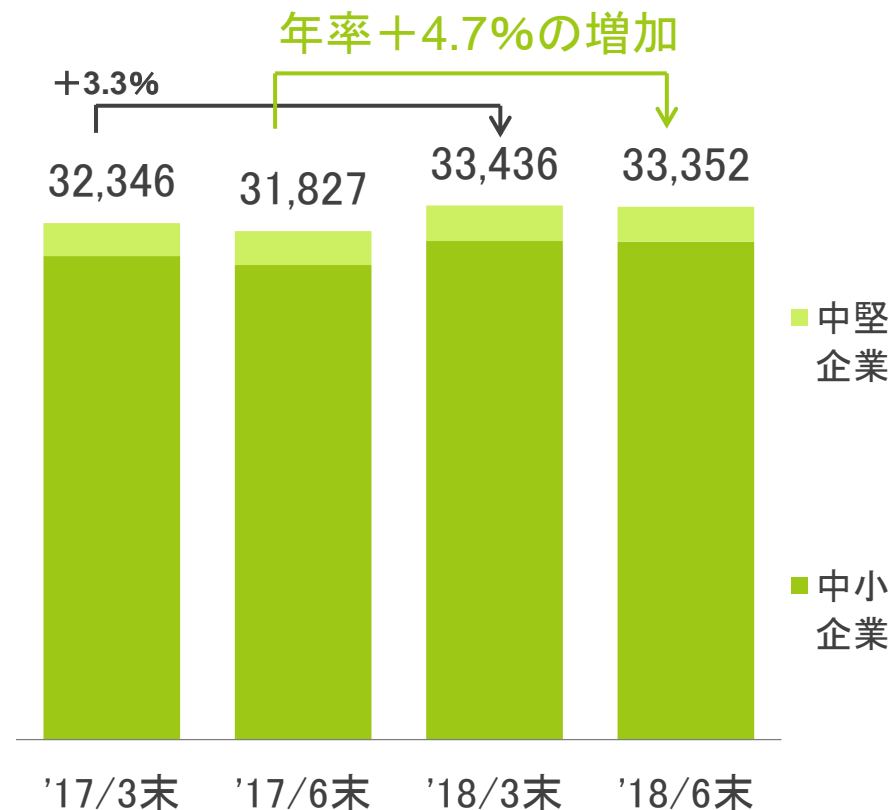
地元貸出金

(単位: 億円)



中堅・中小企業向け貸出金

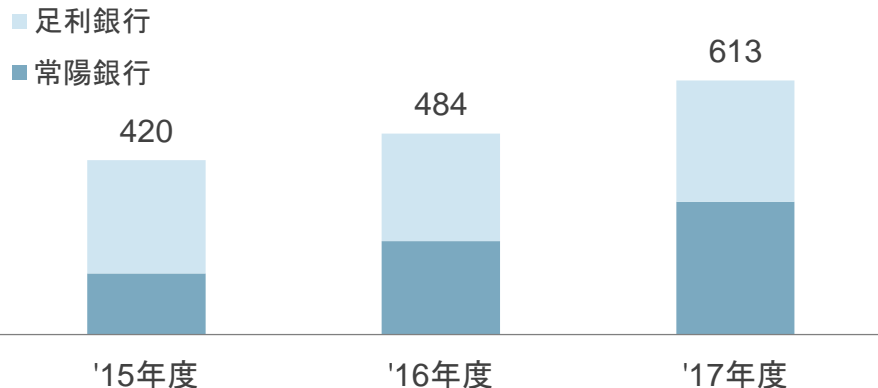
(単位: 億円)



法人のお客さま

私募債発行

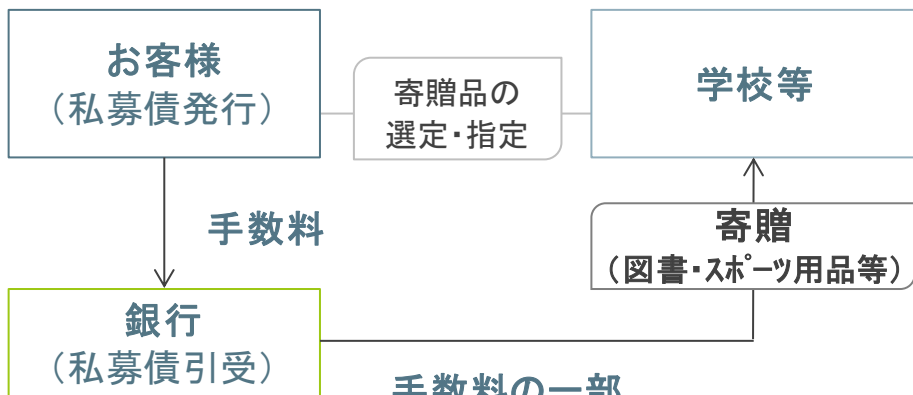
(単位: 億円)



寄贈サービス付私募債

('18年6月末累積実績: 304億円/346件)

お客様とともに、学校環境の整備をつうじて、地域社会へ貢献



手数料の一部

'16年7月の取扱い開始より、2行合算で総額5千万円を超える寄贈を実施

事業承継・M&A

後継者の有無などに応じて、事業承継の方向性を共に考えソリューションを提供

取引先の円滑な事業・資産承継、雇用維持をサポートすることにより、地域経済の持続的発展に貢献

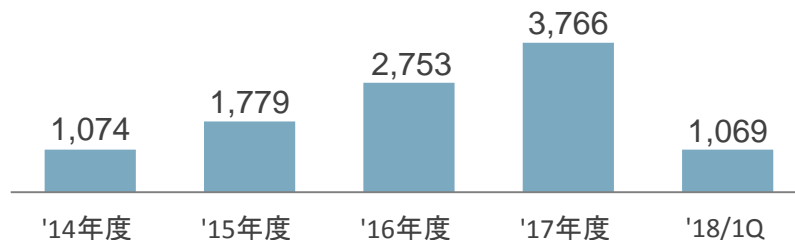


親族の承継

従業員の承継

M&A

事業承継・M&Aの提案先数(2行合算)



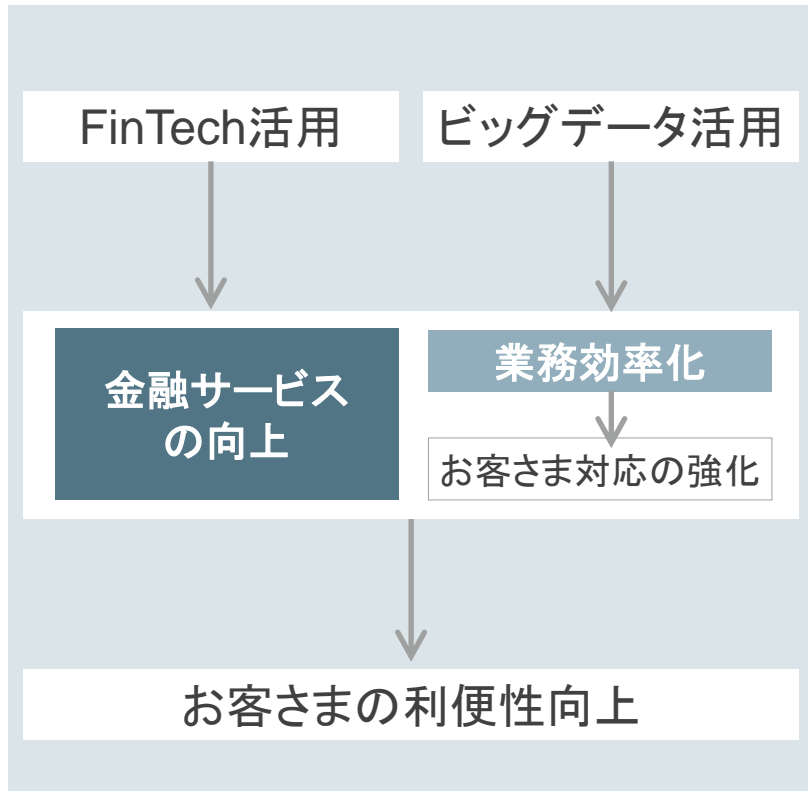
茨城県・栃木県内でM&A等を選択する見込みのある企業数: 約2万社









* 中小企業庁統計表一覧・帝国データバンク公表資料等により当社推定

ITを活用したお客さまの利便性向上

1 2 3 4

IT活用により、金融サービスの向上、お客さま対応の強化をはかる



- | | |
|--------------------|--|
| 決済 |  スマートフォン小口決済 |
| ご預金 |  口座開設アプリ
インターネット支店機能拡張 |
| |  通帳アプリ
インターネットバンキング |
| お借入 |  マイカーローン申込ネット完結
住宅ローン借換ネット申し込み |
| 資産管理 |  資産運用提案
ロボアドバイザー |
| |  家計管理アプリ
マネーツリー「一生通帳」 |
| お客さま
ニーズ
の発掘 |  データ分析
マーケティング・商品提案・自動審査等 |
| |  AIの活用 |

- | | |
|-----------|--|
| 業務
効率化 | 店頭受付ナビゲーション
渉外活動BPR
本部事務効率化・RPA
本部集中・ペーパーレス |
|-----------|--|

業務の効率化

1 2 3 4

オペレーションの革新により捻出した経営資源を、お客さまの満足向上に資する分野に投下



店頭受付
ナビゲーションシステム

期待される成果

お客さまの利便性向上

店頭待ち時間削減
入力手続の簡素化 等

営業時間の拡大

コンサルティング時間の確保

営業人員の増加

お客さま対応人員の増強

店舗の効率化

1 2 3 4

2018年6月末現在

店舗運営の効率化とお客様の利便性向上

店舗効率化 (経営統合(2016年10月)以降)

経営統合に伴う店舗統廃合(重複エリア見直し)

常陽 | 1支店、1出張所を統合(店舗内店舗化)

足利 | 古河地区の再編 1支店、3出張所、
1ローンセンターを古河支店に集約

経営統合以外の店舗統廃合

常陽 | 2支店、1出張所を統合(店舗内店舗化)

足利 | 1支店、1出張所、1ローンセンターを同一店舗に移転
1支店、1出張所を統合(店舗内店舗化)

ATM共同利用

常陽銀行・足利銀行のATMの相互利用
(手数料、ポイント優遇等の共同化)

利用しやすい店舗づくり お客さまの利便性向上

休日営業店舗の活用

TV電話の活用

インターネット支店 など

その他の店舗運営効率化

店舗軽量化、個人特化店化

効率化出張所等の設置

一部の出張所で昼休業の導入

ATMの相互利用



TV電話



土日営業店舗

2018年3月期 (百万円)

	会社名	主な事業内容	経常 収益	前年 度比	経常 利益	前年 度比	当期 純利益	前年 度比	
FG	めぶきリース	リース業務、債権買取業務	25,237	+3,144	745	Δ279	553	Δ92	
	めぶき証券	有価証券の売買、媒介、取次、代理業務	3,824	+1,643	1,770	+1,029	1,219	+709	
常陽銀行	営業系	常陽コンピューターサービス	1,404	Δ32	121	+31	78	+18	
		常陽産業研究所	579	Δ26	53	+34	35	+22	
	業務受託系	常陽信用保証	住宅ローン信用保証業務	3,963	+196	1,594	+12	1,037	+3
		常陽クレジット	クレジットカードの取扱いに関する業務	1,218	+20	219	Δ16	142	Δ63
		常陽ビジネスサービス	事務受託代行業務	764	Δ22	3	+3	0	Δ0
		常陽キャッシュサービス	現金自動設備の保守・管理業務	1,029	Δ71	3	+2	0	+0
		常陽施設管理	営業用不動産の保守管理業務	972	Δ1	293	+9	182	Δ2
		常陽銀行グループ 小計	9,932	+61	2,288	+76	1,478	Δ20	
足利銀行	足利信用保証	住宅ローン信用保証業務	3,518	Δ852	1,638	+58	987	Δ12	
	あしぎん総合研究所	コンサルティング業務、調査研究の受託業務	589	Δ59	49	+10	47	+8	
	あしぎんカード	クレジットカードの取扱いに関する業務	1,500	Δ2,619	254	Δ2,721	166	Δ2,105	
		足利銀行グループ 小計	5,608	Δ3,531	1,942	Δ2,652	1,201	Δ2,109	
	銀行業以外のグループ会社 合計	44,602	+1,318	6,746	Δ1,825	4,452	Δ1,512		

事業戦略に基づいた施策・シナジー実績

1 2 3 4

(単位: 億円)

事業戦略に基づいた施策実施

広域ネットワークを活用した情報営業の強化

めぶきリース機能の相互活用

預り資産の推進ノウハウの共有

めぶき証券機能の相互活用

両行の投資経験を活かした新領域への投資

共同投資の取組み

重点地域における人員増強

市場国際部門のノウハウ共有

経費削減ノウハウ、費用対効果手法の共有

店舗運営効率化のノウハウ共有

(減価償却費、ランニングコストの増加)



項目	'16/下 実績①	'17年度 実績②	'18年度 計画	'18/6迄 実績③	'18年度 進捗
貸出金・法人役務	4.0	14.0	20.1	4.4	21.8%
預り資産	3.4	8.8	10.4	1.8	17.3%
有価証券	0.5	7.8	12.3	4.3	34.9%
その他(チャンネル・ 市場国際等)	1.0	14.0	7.4	6.0	81.0%
経費削減	1.0	8.8	11.5	3.7	32.1%
コスト増加・ 逆シナジー	△0.8	△5.1	△8.5	△2.4	-
シナジー合計	9.1	48.5	53.4	17.8	33.3%

"18/6迄のシナジー累計(①+②+③)

75.4億円

1. めぶきFGについて

2. 事業戦略

3. 業績予想・株主還元

4. 地域貢献ほか

2018年度業績見通し

1 2 3 4

資金利益が減少する一方、事業性評価・資産形成等に関するコンサルティング強化による役務取引等利益の増加を見込む。

連結経常利益 650億円(前年度比+14億円) 連結純利益* 450億円(前年度比+19億円)

めぶきFG連結

	'18年度 1Q実績	'18年度 予想	予想に 対する 進捗率
経常利益	190	650	+29.2%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	134	450	+29.9%
ROE 東証基準* ¹	6.0%	5.0%	-
ROE 株主資本基準* ²	7.1%	5.8%	-

*¹ ROE(東証基準)
= (親会社株主に帰属する)当期純利益 ÷ 自己資本

*² ROE(株主資本基準)
= (親会社株主に帰属する)当期純利益 ÷ 株主資本合計

常陽(単体)

	'18年度 1Q実績	'18年度 予想	予想に 対する 進捗率
コア業務純益	110	375	+29.4%
経常利益	124	385	+32.3%
当期(四半期)純利益	89	265	+33.6%
ROE 東証基準	5.9%	4.3%	-
ROE 株主資本基準	7.6%	5.6%	-

*³ 子会社からの受取配当金120億円を特別利益に計上

*^{4,5} 子会社からの受取配当金120億円の影響を控除したROEは6.1%(*⁴)、6.7%(*⁵)

*親会社株主に帰属する当期純利益
(億円)

足利(単体)

	'18年度 1Q実績	'18年度 予想	予想に 対する 進捗率
コア業務純益	101	310	+32.8%
経常利益	71	275	+26.0%
当期(四半期)純利益	169	310 ^{*3}	+54.6%
ROE ^{*4} 東証基準	20.7%	9.3%	-
ROE ^{*5} 株主資本基準	22.7%	10.2%	-

2行合算(単体)

銀行以外のグループ会社

連結調整

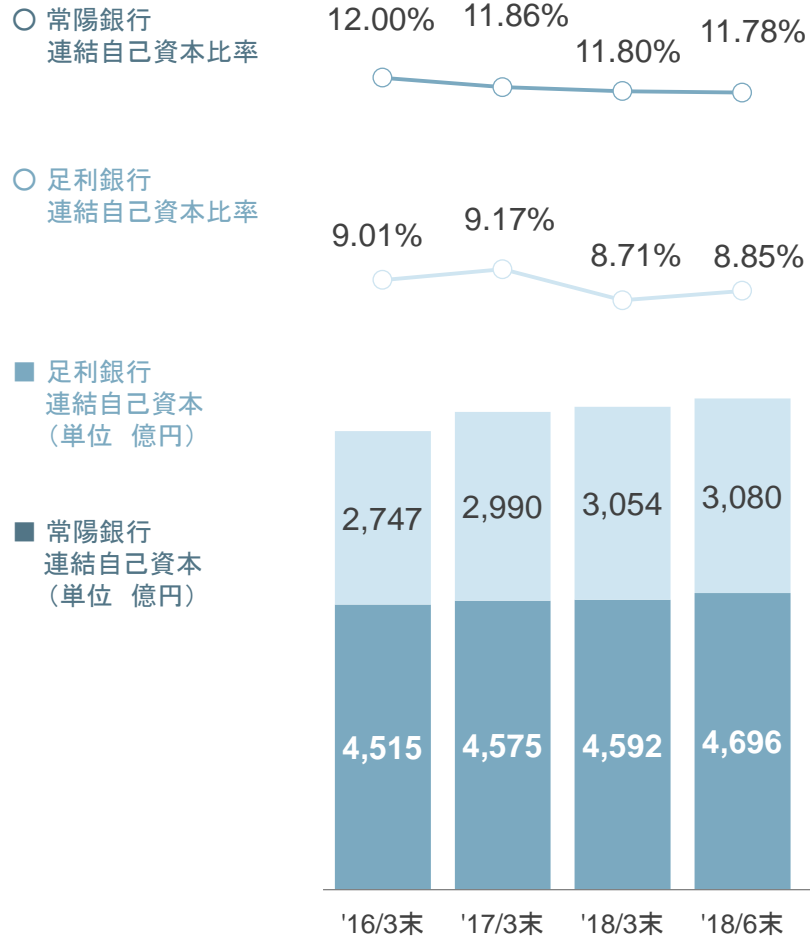
	'18年度 1Q実績	'18年度 予想	予想に 対する 進捗率	'18年度 1Q実績	'18年度 予想	予想に 対する 進捗率
経常利益	196	660	+29.7%	13	70	+18.6%
当期(四半期)純利益	258	575	+44.9%	8	45	+19.0%

△132億円

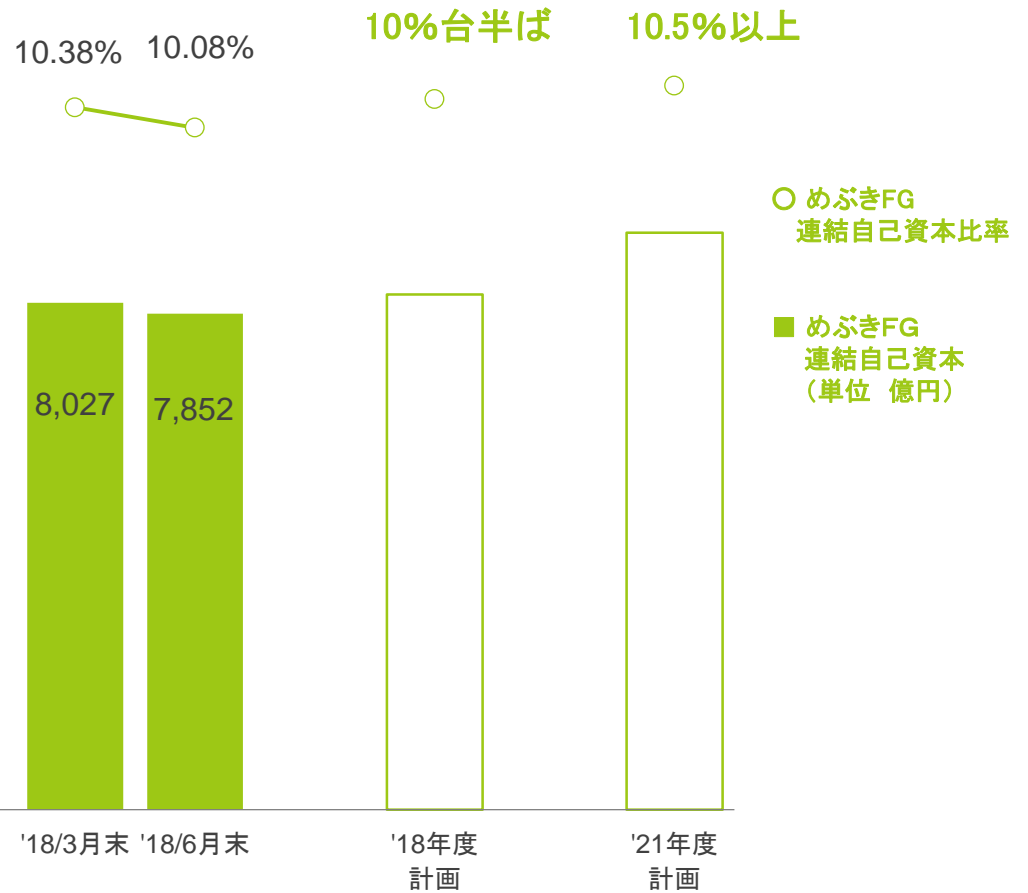
足利銀行の子会社からの受取配当金(特別損益で計上) △120億円
有価証券連単簿価差に伴う調整(△10億円)

自己資本比率

常陽銀行・足利銀行 | 連結



めぶきFG | 連結



株主還元 | 配当政策/株主優待制度

1 2 3 4

配当政策

グループとしての成長に向けた資本の確保と、株主さまへの適切な利益還元のバランスを考慮し、安定配当を目指す。

‘18年度の配当は、配当政策を踏まえ年間11円を予定(配当性向 28.6%)。

1株あたり配当

	年間配当	年間配当	
		中間配当	期末配当
‘17年度	11.0円	5.5円	5.5円
‘18年度	11.0円(予定)	5.5円(予定)	5.5円(予定)

自己株式取得

株主還元の充実と資本効率の向上等を目的に自己株式の取得を実施

取得株式数 5百万株 取得金額 20.8億円
(取得期間 2018年5月14日～5月25日)

株主優待制度

対象

毎年3月末日時点で1,000株以上をお持ちの株主さま

内容

地元特産品等を記載の専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの特産品をお選びいただけます。

株主優待制度の概要

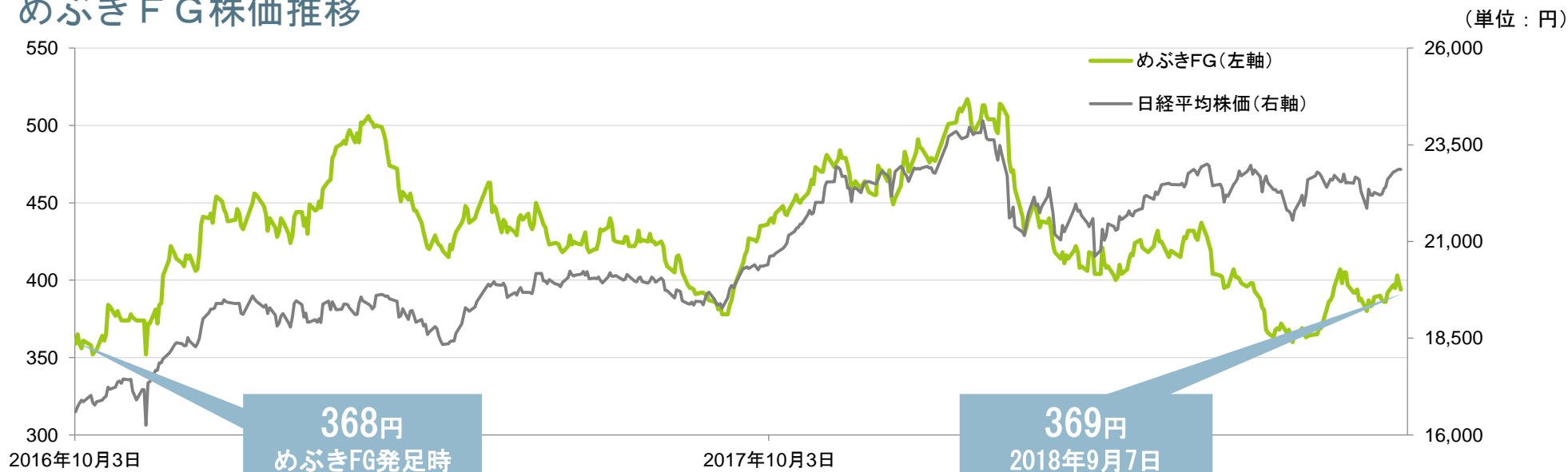
1,000株以上 5,000株未満	2,500円相当	茨城・栃木両県の特産品を中心に 540アイテム (各コースの合計)
5,000株以上 10,000株未満	4,000円相当	
10,000株以上	6,000円相当	



株価の推移

配当利回りは他行比で高い水準

めぶきFG株価推移

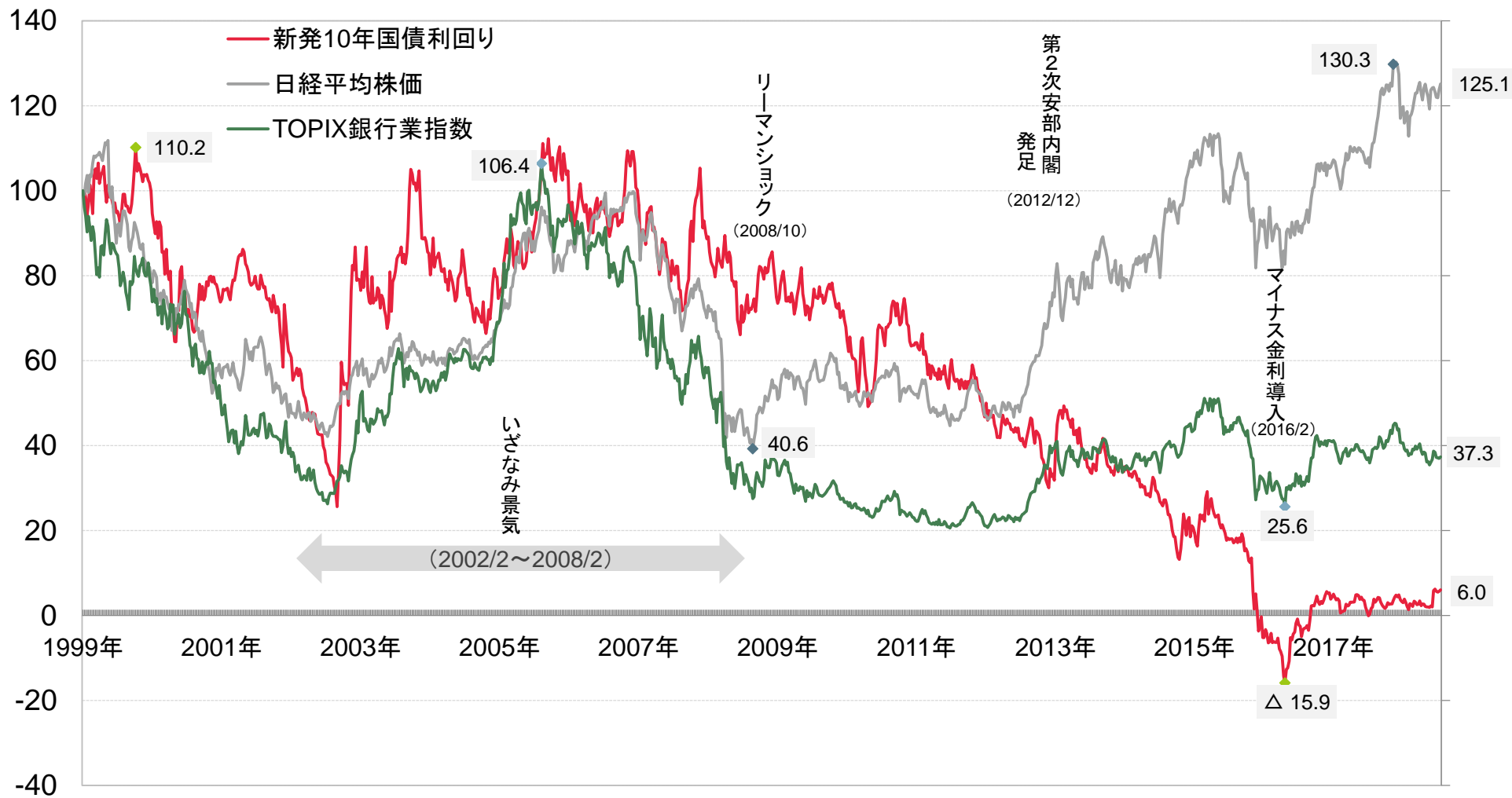


株価指標（地方銀行・グループの時価総額上位3社、近隣行）

(2018年9月7日終値)

	株価	発行済株式数	時価総額	配当利回り	PBR	PER
コンコルディアFG	502円	1,264百万株	6,348億円	3.08%	0.54倍	8.98倍
千葉銀行	672円	865百万株	5,816億円	2.38%	0.54倍	9.60倍
静岡銀行	914円	615百万株	5,622億円	2.40%	0.53倍	10.43倍
めぶきFG	369円	1,179百万株	4,350億円	2.98%	0.48倍	9.64倍
群馬銀行	535円	453百万株	2,428億円	2.43%	0.43倍	8.13倍
武蔵野銀行	3,030円	33百万株	1,024億円	2.64%	0.41倍	9.14倍

(ご参考) 長期金利(日本国債10年利回り) および株価指数の推移

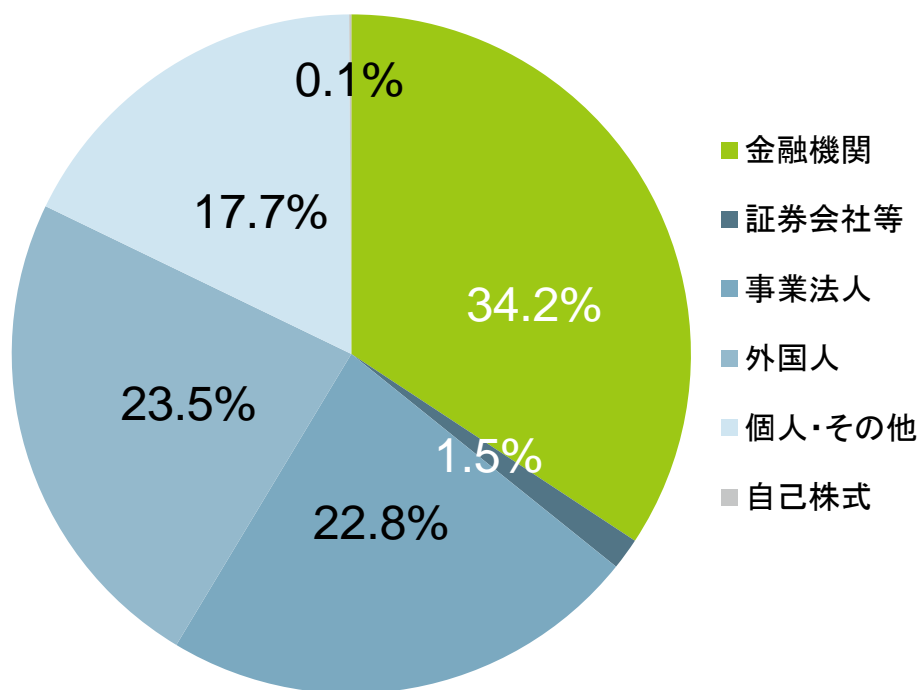


※1999年12月10日を100として3指数を比較(～2018年8月31日)

(ご参考) 株主の状況

株主構成

(’18年3月末現在)



大株主の状況

(’18年3月末現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率	持株比率 '17/3月末比
野村フィナンシャル・パートナーズ株式会社	122,900	10.43%	-
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	47,818	4.05%	+0.77%
損害保険ジャパン日本興亜損保株式会社	40,118	3.40%	△0.51%
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	37,982	3.22%	+0.82%
日本生命保険相互会社	34,487	2.92%	-
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	27,336	2.32%	+0.09%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	26,585	2.25%	+0.15%
株式会社三菱UFJ銀行	22,225	1.88%	△1.00%
住友生命保険相互会社	21,659	1.83%	-
第一生命保険株式会社	19,948	1.69%	-

1. めぶきFGについて

2. 事業戦略

3. 業績予想・株主還元

4. ESGの取り組み

ESGの取り組み

1 2 3 4

持続可能な地域社会の実現に向け、ESGの取り組みを強化

Environment (環境)

環境保全団体等への助成金支援
環境に配慮した店舗づくり
環境保全活動(森林整備)
太陽光発電など再生可能エネルギー、環境配慮型企业への融資



Social (社会)

地域産業の掘り起しと新事業創造に関する支援
事業承継支援と人材不足解消に向けたマッチング支援
次世代を担う若手経営者や子どもたちの育成支援
自治体等と連携した地方創生への取り組み
ワークライフバランス、女性活躍の推進



Governance (企業統治)

コーポレートガバナンス体制の確立
内部統制システムの整備
リスク管理態勢の高度化
コンプライアンス(法令等遵守)の強化

Environment (環境)

地域とのリレーション

信託スキーム等を通じた環境保全活動

1992年に公益信託「エコーいばらき」環境保全基金を設立し、茨城県内の環境保全に取り組む団体などに継続的に助成を行っています。

'17年度助成金	
121件	962万円

設立からの助成金累計	
1, 178件	約1億3, 000万円

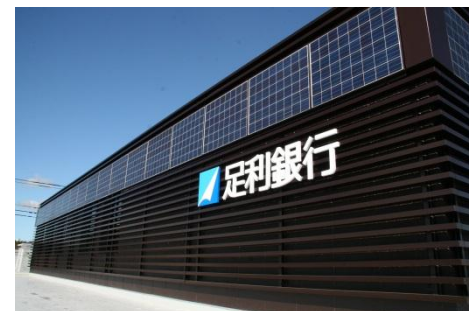
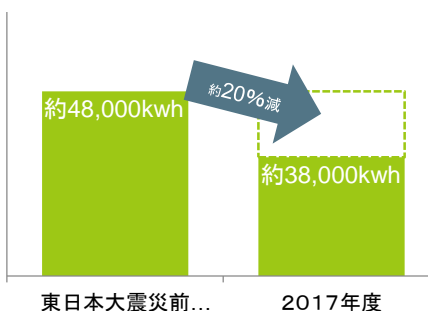


2017年

サステナブルファイナンス大賞
「地域金融賞」受賞！！

地域の環境保全活動支援が評価され、一般社団法人環境金融研究機構(RIEF)より表彰されました。

環境に配慮した店舗づくり



(太陽光パネル設置店舗)

環境保全活動

ふるさとの美しい健全な森を次世代に引き継ぐため、両行の行員が苗木の植樹や森林保全活動として下草刈りを実施しています。2018年4月には常陽ふるさとの森に新入行員の研修プログラムの一環として、約800本の少花粉のスギやヒノキの苗木を植樹しました。



環境関連融資

太陽光やバイオマスなどのクリーンエネルギーを利用した発電事業に対する環境関連融資を通じて、地域の再生可能エネルギーの普及・発展に取り組んでいます。また、環境保全に係る設備資金の融資金利を優遇するなど、環境関連の課題解決に取り組む事業者を支援しています。



	契約件数	契約額
'17年度 太陽光発電融資 (2行合算)	377件	349億円

ESGの取組み

Social(社会)

地域産業の掘り起しと新事業創造支援

ビジネスプランコンテストを通じた地域産業の発掘
地域の革新的・創造的な事業プランを募集・表彰するビジネスプランコンテスト「めぶきビジネスアワード」を開催。受賞プランの事業化に向けてさまざまなサポートを実施しています。

めぶきビジネスアワード

応募プラン数	受賞プラン数
637先	30プラン



地域商社機能の整備

2018年3月、北海道総合商事(株)と連携し、茨城県産いちごをロシアへ試験輸出し、ロシアへの販路拡大を実践開始。

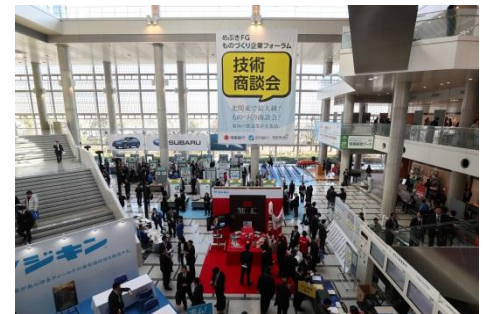
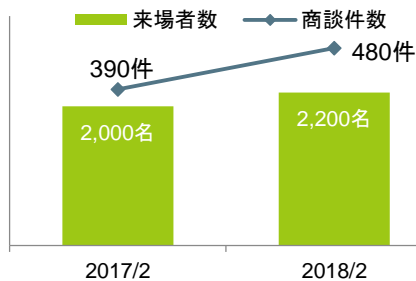
2018年5月には、(株)北海道銀行、北海道総合商事(株)と常陽銀行の3者で連携協定を締結し、県産品の販路拡大をすすめています。



新たな市場開拓・経済交流の拡大

グループのネットワークを生かしたビジネスマッチング
グループの広域ネットワークを生かし、農業、食、ものづくり関連の各種商談会を両行共同で開催し、取引先同士のビジネスマッチング等を支援しています。

「めぶきビジネスフォーラム」実施状況



(ものづくり企業フォーラム)

海外ビジネスマッチング

お客さまの海外事業展開を支援するため、海外でのセミナーや商談会・交流会を開催しています。現地企業や出展企業同士の商談や最新ビジネス情報の提供や企業間の情報交換の場として活用いただいています。

海外ビジネス マッチング件数 (2017年度)	155件
-------------------------------	------



(海外ビジネスセミナーの様子)

Social(社会)

地域経済の持続的成長を支える取り組み

技術コーディネーターを活用した「ものづくり企業支援」

大手メーカー等に勤務経験があり、製造業に対する専門的な知識を有する「技術コーディネーター」を活用し、「ものづくり企業」を支援しています。
(常陽銀行)



事業承継や人材マッチングへのサポート

両行の本部、営業店、外部の専門機関等が連携し、円滑な事業・資産承継等ができるようお客さまとともに考え、課題解決へ向けさまざまな支援を行っています。



自治体と連携した地方創生への取り組み

伝統的な町並み等の地域資源を活用した地域振興や古民家の利活用を通じた民泊・農泊事業に取り組んでいます。

また、企業誘致、産業振興、観光振興、定住促進などの連携事業を着実に実行していくため、自治体と銀行のトップ、役員、実務担当者などが出席し、連携項目の進捗確認や課題解決に向け定期的な意見交換を行っています。



(真壁地区古民家)

従業員による地域貢献

お祭り等の地域イベントへの参加や清掃活動、リサイクル資源の回収、環境保全活動などボランティア活動を通じて、地域活動のお手伝いをしています。



Social(社会)

地域経済の持続的成長を支える取組み

金融サービスを通じた地域貢献

お客さまが発行する私募債の手数料の一部を活用し、お客さまが希望する学校等に図書やスポーツ用品、福祉用具等を寄贈しています。

寄贈サービス付私募債(累計)

件数	発行額
310件	276億円

(2018年3月末)



福祉用具(車いす)寄贈の様子

金融教室の開催

次世代を担う子どもたちにお金の大切さや銀行の役割を学んでいただく「金融教室」を開催しています。

金融教室

開催回数	受講者数
90回	約2,800名

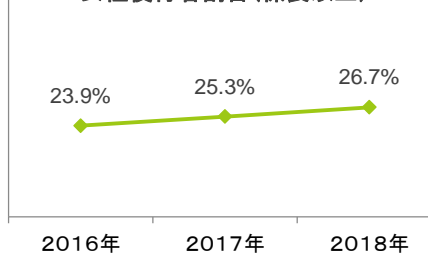
(2017年度:2行合算)



女性の活躍推進

意欲と能力のある女性行員の役付者への登用を積極的に行っています。また、女性リーダー育成のための2行合同研修会を開催しています。

女性役付者割合(係長以上)



(めぶき女性塾)

「健康経営優良法人2018」の認定

従業員の健康を重要な経営資源と捉え、健康課題の把握や対策、心と身体の健康づくりに向けた具体的な施策の実施に取り組み、経済産業省主催「健康経営優良法人認定制度」における「健康経営優良法人2018」にも両行とも認定されました。

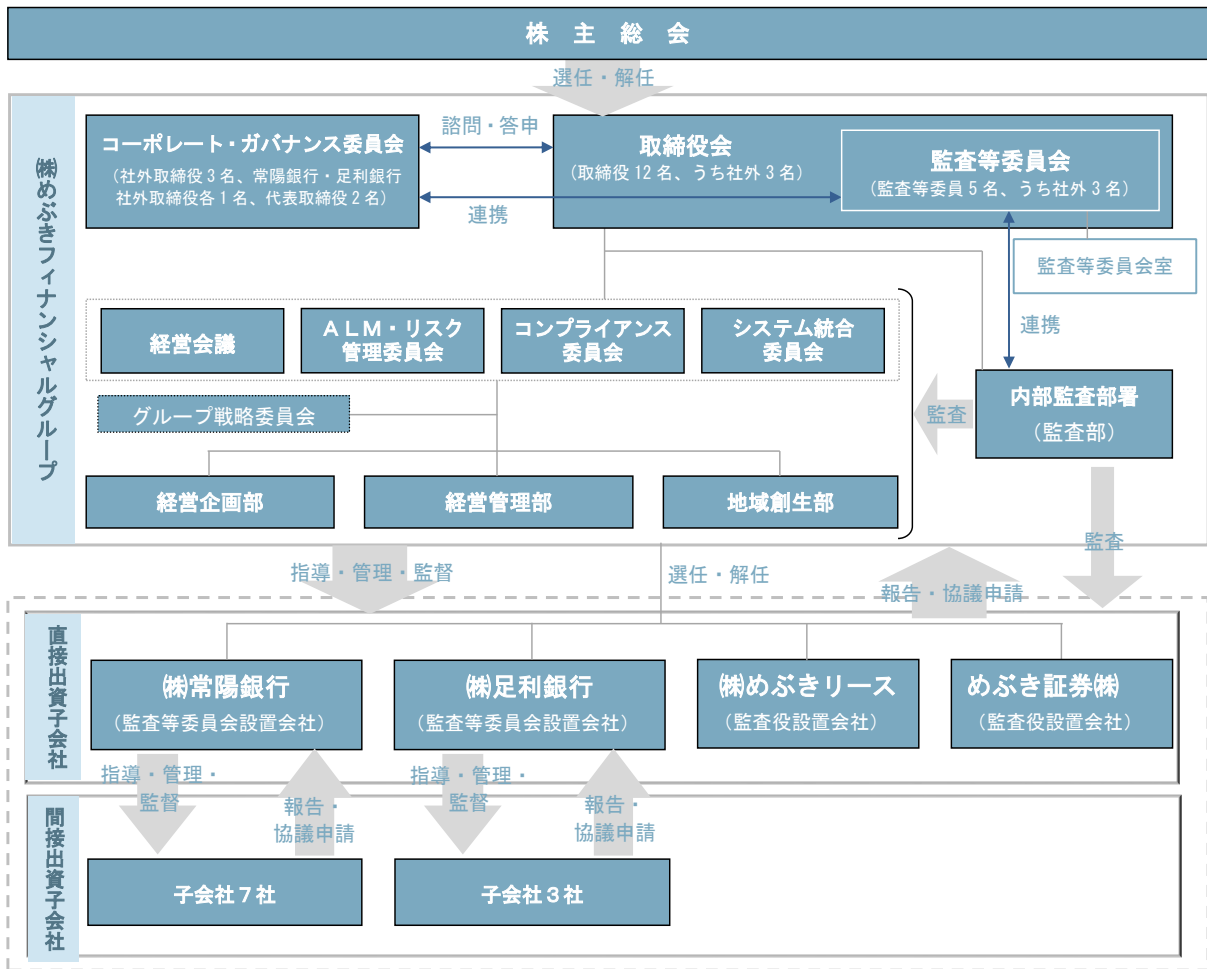


2018
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

ESGの取組み

Governance (企業統治)

【当社グループのコーポレート・ガバナンス体制】



<取締役会>

取締役会は、取締役12名（うち社外取締役3名）で構成され、経営の基本方針や従業や業務等を決定するとともに、取締役の職務の執行の監督を行います。弁護士や学識経験者等複数の社外取締役の配置による透明かつ公正な意思決定機能と高い監査・監督機能を確保しつつ、業務執行の決定権限の多くを取締役に委任することにより、迅速・果敢な意思決定と業務執行の実現を図っております。原則月1回開催。

<監査等委員会>

監査等委員である取締役5名（うち社外取締役3名）で構成され、取締役の職務の執行を監査し、株主総会に提出する会計監査人の選任及び解任、並びに会計監査人を再任しないことに関する議案の内容等の決定を行います。原則月1回開催。

<コーポレートガバナンス委員会>

社外取締役（子銀行の社外取締役を含む）を過半数とする構成。委員長は社外取締役が務め、取締役候補の選定や取締役の報酬に関する事項等を審議し、取締役会に答申しております。


<決議機関>

取締役会の決定に基づき、業務執行上の重要事項を協議・決定する機関として、経営会議、ALM・リスク管理委員会、コンプライアンス委員会、システム統合委員会を設置しております。

地域創生への取り組み

地域経済活性化に向けた各種イベントを積極的に展開

食の商談会



北関東で最大級！
地域のあじしい食材大集合！

めぶき
食の
商談会
MEBUKI Food Business Meeting

2018
in
つくば


展示
と
予約
の参加者募集！
有料 無料

平成30年1月25日①
10:00～16:00
つくば国際会議場

食関連事業者の販路拡大および食材調達支援、参加者の相互交流などを目的に開催

出展企業 240社
参加者 3,100名
予約商談数 610件

ものづくり企業フォーラム「技術商談会」




常備銀行 足利銀行 MEBUKI

めぶきものづくり企業フォーラム 2018
技術商談会
2月20日①
10:00～17:00開催
つくば国際会議場
北関東で最大級！

地元ものづくり企業の事業支援を目的とし、地銀最大級の規模で開催
事前作成の技術提案書をもとに、予約商談・パネル展示商談を実施
ものづくりのヒントとなるデモンストレーションや、これまでの受賞企業によるプレゼンを実施

めぶきビジネスアワード



そのビジネスアイデアが、金の卵。

2ND MEBUKI BUSINESS AWARD
第2回 めぶきビジネスアワード

応募期間
2018.11.20 ~ 2019.1.31

賞金額
300万円
100万円

両行の営業エリアに潜在する革新的・創造的な事業プランを募集・表彰
事業プランの作成・事業立ち上げに至る一貫した支援を展開

応募637件、受賞30件

めぶき地域創生ファンド実績

(2016年11月組成)



組成額
40億円

両行および損保ジャパン日本興亜等が出資する新事業創出支援ファンド

地域経済の発展に資する事業を行う中小・中堅企業に出資・経営支援

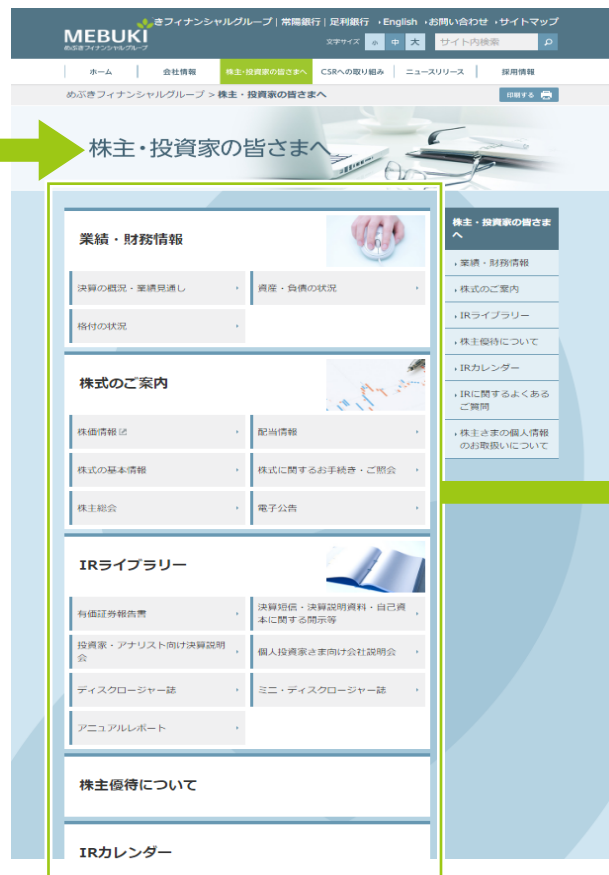
実績 | 2018年6月末現在
投資額17.7億円 / 合計9件

(ご参考) ホームページのご案内

総合トップ 個人のお客さま

株主・投資家の皆さま

<http://www.mebuki-fg.co.jp/shareholder/>



業績・財務情報

株式のご案内

IRライブラリー

株主優待について

IRカレンダー

IRに関するよくあるご質問

など、随時更新してまいります。

(ご参考) 用語集

1 2 3 4

JPX400

資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした、「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成される新しい株価指数

企業のメインバンク調査

東京商工リサーチが、同社の企業リストから企業がメインバンクとして認識する金融機関を抽出、集計したもの。

総合金融サービス

多様化するお客さまのニーズに対して、銀行、リース、証券、iリンクなどのグループ機能を有機的に組み合わせて提供する総合的な金融サービスのこと。

NISA (少額投資非課税制度)

「NISA口座(非課税口座)」内で、毎年一定金額の範囲内で購入した金融商品から得られる利益が非課税になる制度。

iDeco (個人版確定拠出年金)

拠出された掛金が加入者毎に管理され、掛金の運用により、給付額が決まる年金。加入者ごとに管理されるため、離転職の際に携帯することが可能。

FinTech

Finance(金融)とTechnology(技術)からなる造語で、ICT等を活用した金融分野での技術革新のこと。

ビッグデータ

一般的なアプリケーションでは処理が困難なほど巨大なデータの集積を指す。決済情報など、そうしたデータの集合体の分析等を通じて、事業に有用な知見の抽出が期待される。

BPR(Business Process Re-engineering)

企業活動の改善を企図して、既存のビジネスプロセスを抜本的に見直し、再構築すること。

RPA(Robotic Process Automation)

AIが反復によって学ぶ機械学習というプロセスを用い、ソフトウェアやブラウザ等を横断して業務を自動処理することで、ホワイトカラーの業務代行を担うもの。

配当性向

利益をどれだけ株主に還元しているかを示す指標(配当額÷当期純利益)。

配当利回り

現在の株価に対する、年間の配当金合計の割合を示す指標。

PBR (Price Book-value Ratio)

株価純資産倍率。株価が一株当たり純資産の何倍になっているかにより、企業の資産面から株価水準を推し量る指標。

PER (Price Earnings Ratio)

株価収益率。株価が一株当たり純利益の何倍になっているかにより、企業の収益面から株価水準を推し量る指標。

寄贈サービス付私募債

発行手数料の一部で、図書やスポーツ用品、楽器等を購入し、発行者が指定する学校等に寄贈するサービスが付いた私募債。

(ご参考) 用語集

環境格付融資

融資先企業の活動を環境面から評価し、その評価結果によって金利を段階的に変更する貸出のこと。

監査等委員会

2014年会社法改正により新たに導入された株式会社の機関設計。過半数の社外取締役を含む取締役3名以上で構成され、取締役の職務執行の組織的監査を担う。

社外取締役

株式会社の取締役であって、現在及び過去において、当該株式会社またはその子会社の代表取締役・業務執行取締役もしくは執行役または支配人その他の使用人ではない者。

本日は、めぶきフィナンシャルグループの会社説明会にお越しいただき、誠にありがとうございました。

今後とも、株主の皆さま、お客さま、地域の皆さまのご期待にお応えできますよう
役職員一同全力を尽くしてまいります。

引き続き一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

本件に関するお問合せ先

株式会社 めぶきフィナンシャルグループ 経営企画部

TEL 029-233-1151(代表)

E-mail ir@mebuki-fg.co.jp

URL <http://www.mebuki-fg.co.jp/>

ご注意

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の有価証券等の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部または一部は予告なしに修正または変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営を取巻く環境の変化などにより実際の数値と異なる可能性があります。